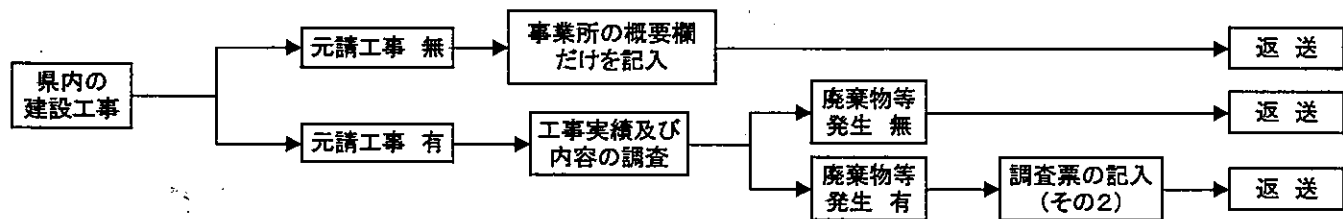


調査票番号

- 本調査は、事業活動によって発生する産業廃棄物、有償あるいは無償で引渡している副産物の全てが対象となります。
- 本調査の対象工事は、平成21年度（平成21年4月1日～平成22年3月31日）に完成した建設工事です。
なお、平成20年度以前に着工した工事の場合は、着工から完成（平成21年度）までの全工期中の産業廃棄物の発生量を対象として下さい。
- 調査票（その2）には、貴社が元請として愛知県内で施工した全ての建設工事から発生する産業廃棄物と、副産物について記入して下さい。
共同企業体（J.V）による建設工事については、分担施行方式では各社持ち分の元請工事高と産業廃棄物発生量を記入し、共同施行方式では貴社が代表会社の場合のみ、元請完成工事高と産業廃棄物発生量等を一括記入して下さい。
- 下記の提出フローに従い調査票に記入し、返送して下さい。



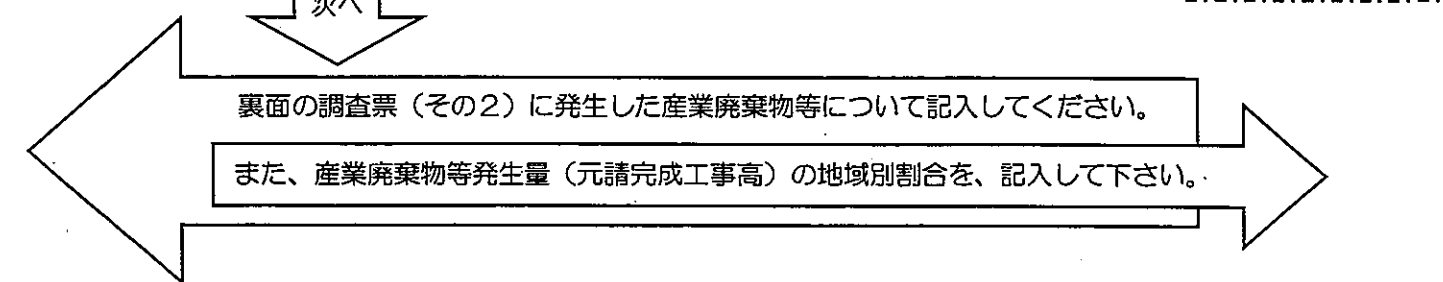
| | | | | | | |
|--------|-------|---------------------------------------|------|-----|---------|--|
| 事業所の概要 | 事業所名 | | | | 元請工事の有無 | 該当する番号に○を付けて下さい。 1. 県内元請工事 有 2. 県内元請工事 無 「事業所の概要」のみ記入し、返送して下さい。 |
| | 所在地 | | | | | |
| | 代表者氏名 | 記入者 <small>ふりがな</small> (部課、氏名) | | | | |
| | 記入年月日 | 平成 年 月 日 | 電話番号 | - - | | |

| | | | | | | | |
|------|---|----|----|----|----|----|------|
| 工事実績 | 元請完成工事高（平成21年度） | | | | | | |
| | 愛知県内で行われた工事の年間の元請完成工事高(出来高工事を含む)を記入して下さい(消費税を含む)。 | | | | | | |
| | 千億 | 百億 | 十億 | 千億 | 百億 | 十億 | 万円 |
| | | | | | | | 万円/年 |

平成21年度の1年間に産業廃棄物等は発生しましたか。該当する番号に○を付けて下さい。
※再生利用、又は有償もしくは無償で引き渡している副産物も対象として下さい。

1. 発生した。 2. 発生しなかった。 次へ

「事業所の概要」「工事実績」を記入し、返送して下さい。



産業廃棄物等発生量（元請完成工事高）の地域別割合

| 地区名 | 構成市町村 | 割合 |
|-------|--|----|
| 名古屋地区 | 名古屋市 | % |
| 尾張地区 | 一宮市、瀬戸市、春日井市、犬山市、江南市、小牧市、稲沢市、尾張旭市、岩倉市、豊明市、日進市、清須市、北名古屋市、東郷町、長久手町、豊山町、大口町、扶桑町、津島市、愛西市、弥富市、あま市、大治町、蟹江町、飛鳥村 | % |
| 知多地区 | 半田市、常滑市、東海市、大府市、知多市、阿久比町、東浦町、南知多町、美浜町、武豊町 | % |
| 豊田地区 | 豊田市、みよし市 | % |
| 西三河地区 | 岡崎市、碧南市、刈谷市、安城市、西尾市、知立市、高浜市、一色町、吉良町、幡豆町、幸田町 | % |
| 豊橋地区 | 豊橋市 | % |
| 東三河地区 | 豊川市、蒲郡市、田原市、新城市、設楽町、東栄町、豊根村 | % |

※産業廃棄物等発生量の地域別割合がわからない場合は、元請完成工事高による割合で記入して下さい。

産業廃棄物処理実態調査票【その2】

建設業

<平成21年度実績>

●別紙の「調査票の記入例」、「廃棄物分類表」を参考に記入して下さい。
●産業廃棄物と副産物全てが対象となります。再生利用、売却をしている場合も記入して下さい。

①廃棄物等の名称
貴工事現場で日常使用している名称を記入して下さい。

②分類番号
別紙の「廃棄物分類表」から該当する4ケタの番号を記入して下さい。

③年間発生量（中間処理する前の量）
各行ごとに1年間の発生量を、焼却や脱水などの中間処理を行う前の量で記入して下さい。なお、単位は該当するものを選び、○で囲んで下さい。

④（工事現場又は自社での中間処理の）方法番号
該当する処理方法の記号を下欄の「中間処理方法コード表」から選んで、中間処理を行った順に記入して下さい。

⑤中間処理後の量
中間処理後の残量を記入して下さい。なお、単位は該当するものを選び、○で囲んで下さい。

⑥処理・処分の方法
発生した廃棄物がある場合は、処理・処分方法を下欄の「処理・処分方法コード表」から選んで、その記号を記入して下さい。

⑦処理・処分先又は再生利用先の名称等
処理・処分（⑥に該当する）等を行った先の名称を記入して下さい。

⑧処理・処分先又は再生利用先の所在地
処理・処分（⑦に該当する）等を行った先の所在地を記入して下さい。

⑨（委託中間処理の）方法番号
「⑥処理・処分の方法」で「X1」と回答された方だけお答えください。
委託先で中間処理内容に該当する番号を下欄の「委託中間処理方法コード表」から選んで、中間処理を行った順に記入して下さい。

⑩委託中間処理後の処分方法
該当する内容の番号を下記から選んで、○で囲んで下さい。
1. 再利用・再生利用（リサイクル）した。
2. 県内の最終処分場で埋立処分した。
3. 県外の最終処分場で埋立処分した。
4. 海洋投入処分した。

⑪資源化の用途
「⑥処理・処分の方法」で「V1、V2、W1、X2、R6」又は前問「⑩委託中間処理後の処分方法」で「1」と回答された方だけお答えください。
下欄の「資源化用途コード表」から該当する番号を選んで記入して下さい。

工事現場で発生した廃棄物等の発生量

| 区分 | 行番 | ①廃棄物等の名称 | ②分類番号 | ③年間発生量 | | | | 単位 |
|-----|----|----------|-------|--------|---|---|---|------------------|
| | | | | 百 | 十 | 千 | 百 | |
| 記入欄 | 1 | | | | | | | kg t |
| | 2 | | | | | | | m ³ % |
| | 3 | | | | | | | kg t |
| | 4 | | | | | | | m ³ % |
| | 5 | | | | | | | kg t |
| | 6 | | | | | | | m ³ % |
| | 7 | | | | | | | kg t |
| | 8 | | | | | | | m ³ % |
| | 9 | | | | | | | kg t |
| | 10 | | | | | | | m ³ % |
| | 11 | | | | | | | kg t |
| | 12 | | | | | | | m ³ % |
| | 13 | | | | | | | kg t |
| | 14 | | | | | | | m ³ % |
| | 15 | | | | | | | kg t |

工事現場又は自社での中間処理

| ④方法番号 | ⑤中間処理後の量 | | | | 単位 |
|-------|----------|------|------|--|------------------|
| | 1次処理 | 2次処理 | 3次処理 | | |
| | | | | | kg t |
| | | | | | m ³ % |
| | | | | | kg t |
| | | | | | m ³ % |
| | | | | | kg t |
| | | | | | m ³ % |
| | | | | | kg t |
| | | | | | m ³ % |
| | | | | | kg t |
| | | | | | m ³ % |
| | | | | | kg t |
| | | | | | m ³ % |
| | | | | | kg t |
| | | | | | m ³ % |

自社処分・自社再利用、委託処理

| ⑥処理・処分の方法 | ⑦処理・処分先又は再生利用先の名称 | ⑧処理・処分先又は再生利用先の所在地 |
|-----------|-------------------|--------------------|
| | | 都道府県 市区町村 |
| | | 都道府県 市区町村 |
| | | 都道府県 市区町村 |
| | | 都道府県 市区町村 |
| | | 都道府県 市区町村 |
| | | 都道府県 市区町村 |
| | | 都道府県 市区町村 |
| | | 都道府県 市区町村 |
| | | 都道府県 市区町村 |
| | | 都道府県 市区町村 |
| | | 都道府県 市区町村 |
| | | 都道府県 市区町村 |
| | | 都道府県 市区町村 |
| | | 都道府県 市区町村 |

委託中間処理

| ⑨方法番号 | ⑩委託中間処理後の処分方法 |
|-------|---------------|
| | 1・2・3・4 |
| | 1・2・3・4 |
| | 1・2・3・4 |
| | 1・2・3・4 |
| | 1・2・3・4 |
| | 1・2・3・4 |
| | 1・2・3・4 |
| | 1・2・3・4 |
| | 1・2・3・4 |
| | 1・2・3・4 |
| | 1・2・3・4 |
| | 1・2・3・4 |
| | 1・2・3・4 |
| | 1・2・3・4 |

自社・委託での資源化

| ⑪資源化の用途 | |
|---------|---------|
| | 1・2・3・4 |
| | 1・2・3・4 |
| | 1・2・3・4 |
| | 1・2・3・4 |
| | 1・2・3・4 |
| | 1・2・3・4 |
| | 1・2・3・4 |
| | 1・2・3・4 |
| | 1・2・3・4 |
| | 1・2・3・4 |
| | 1・2・3・4 |
| | 1・2・3・4 |
| | 1・2・3・4 |
| | 1・2・3・4 |

④中間処理方法コード表

- A: 焼却
- B: 脱水
- C: 天日乾燥
- D: 機械乾燥
- E: 油水分離
- F: 中和
- G: 破碎
- H: 分級
- I: 圧縮
- J: 溶融
- K: 切断
- L: 焼成
- M: 堆肥化
- N: 銀回収
- O: コンクリート固型化
- V: 濃縮
- W: 油化
- X: 選別
- Y: 固形燃料化
- Z: その他

⑥処理・処分方法コード表

- <自己処理>
V1: 自社で再利用した。
V2: 売却できないものを自社で再利用した。
W1: 売却（利益があった）した。
Z1: 自社で保管している。
Q1: 自社の最終処分場で埋立処分した。
- <市町村等へ委託処理>
R1: 市町村等の最終処分場で埋立処分した。
R5: 市町村等の清掃工場で焼却等の中間処理した。
R6: 市町村等の清掃工場でリサイクルした。
- <産業廃棄物処理業者等へ委託処理>
X1: 処理業者に中間処理（資源化・リサイクルを含む）を委託した。
X2: 廃品回収業者、資材納入業者、関連企業等で再生利用した。
S1: 処理業者の最終処分場で直接埋立処分した。
T1: 処理業者で海洋投入処分した。
- <その他>
Z9: その他

⑨委託中間処理方法コード表

- A: 焼却
- B: 脱水
- C: 天日乾燥
- D: 機械乾燥
- E: 油水分離
- F: 中和
- G: 破碎
- H: 分級
- I: 圧縮
- J: 溶融
- K: 切断
- L: 焼成
- M: 堆肥化(発酵)
- N: 銀回収
- O: コンクリート固型化
- T: 金属(鉄)回収
- U: 非鉄金属回収
- V: 濃縮
- W: 油化
- X: 選別
- Y: 固形燃料化
- Z: その他

⑪資源化用途コード表

- 10: 鉄鋼原料
- 20: 非鉄原料
- 30: 燃料
- 31: 木炭
- 41: 飼料
- 42: 肥料
- 43: 土壤改良材
- 50: 土木・建設資材
- 51: 再生木材・合板
- 60: ハルブ・紙原材料
- 70: ガラス原材料
- 80: プラスチック原材料
- 81: 再生タイヤ
- 90: セメント原材料
- 91: 再生油・再生溶剤
- 92: 中和剤
- 93: 高炉還元剤
- 98: その他

10～93に該当するものがない場合、⑪の枠中に具体的な用途を直接記入して下さい。

<調査票の記入例>

建設業

調査対象期間
●この調査の対象工事は、平成21年度（平成21年4月1日～平成22年3月31日）に完成した建設工事です。

調査対象とする工事と廃棄物
●この調査では、県内で施工した元請工事から発生した産業廃棄物と副産物（産業廃棄物、有機・無機引渡物）全てが記入の対象となります。
●廃棄物等の分類については、裏面の「廃棄物分類表」を参考にしてください。

産業廃棄物・副産物の発生量について
●①の廃棄物等の「名称」とその「数量」の回答欄には、「焼却」、「脱水」等の中間処理を行う前の名称と発生量を記入して下さい。

○自社で焼却している場合、焼却前の名称と発生量を記入して下さい。（事例C）
木くず、紙くず、廃プラスチック等を焼却している場合の「③年間発生量」は、焼却前の発生量となります。
なお、焼却後の灰の量が「⑤中間処理後の量」となります。

○自社で脱水している場合、脱水前の発生量を記入して下さい。（事例E）
汚泥等を脱水している場合の「③年間発生量」は、脱水前の発生量となります。なお、脱水前の発生量を把握していない場合は、下記の式より計算して下さい。
＜式＞：（脱水前の発生量）＝（脱水後の汚泥量）×（100％－脱水後の含水率％）÷（100％－脱水前の含水率％）

記入について

- 記入対象は、事業活動によって発生する産業廃棄物、有償あるいは無償で引渡している副産物です。
- 同じ種類の廃棄物でも中間処理方法、委託処理先等が異なる場合は、記入欄①から行をかえて記入して下さい。
- 処理業者へ処理を委託している場合は、マニフェスト等を参考に記入して下さい。不明な部分は、その内容を処理業者に確認したうえで記入して下さい。

④中間処理方法コード表

- A：焼却
- B：脱水
- C：天日乾燥
- D：機械乾燥
- E：油水分離
- F：中和
- G：破砕
- H：分級
- I：圧縮
- J：溶解
- K：切断
- L：焼成
- M：堆肥化
- N：銀回収
- O：コンクリート固化
- V：濃縮
- W：油化
- X：選別
- Y：固形燃料化
- Z：その他

⑥処理・処分方法コード表

- <自己処理>
V1：自社で再利用した。
V2：売却できないものを自社で再利用した。
W1：売却（利益があった）した。
Z1：自社で保管している。
Q1：自社の最終処分場で埋立処分した。
- <産業廃棄物処理業者等へ委託処理>
X1：処理業者に中間処理（資源化・リサイクルを含む）を委託した。
X2：廃品回収業者、資材入業者、関連企業等で再生利用した。
S1：処理業者の最終処分場で埋立処分した。
T1：処理業者で直接海洋投入処分した。
- <市町村等へ委託処理>
R1：市町村等の最終処分場で埋立処分した。
R5：市町村等の清掃工場で焼却等の中間処理した。
R6：市町村等の清掃工場でリサイクルした。
- <その他>
Z9：その他

⑨委託中間処理方法コード表

- A：焼却
- B：脱水
- C：天日乾燥
- D：機械乾燥
- E：油水分離
- F：中和
- G：破砕
- H：分級
- I：圧縮
- J：溶解
- K：切断
- L：焼成（セメント原材料）
- M：堆肥化（発酵）
- N：銀回収
- O：コンクリート固化
- T：金属（鉄）回収
- U：非鉄金属回収
- V：濃縮
- W：油化
- X：選別
- Y：固形燃料化
- Z：その他

⑩資源化用途コード表

- 10：鉄鋼原料
- 20：非鉄原料
- 30：燃料
- 31：木炭
- 41：飼料
- 42：肥料
- 43：土壌改良材
- 50：土木・建設資材
- 51：再生木材・合板
- 60：パルプ・紙原材料
- 70：ガラス原材料
- 80：プラスチック原材料
- 81：再生タイヤ
- 90：セメント原材料
- 91：再生油・再生溶剤
- 92：中和剤
- 93：高炉還元剤
- 98：その他

調査票(その2)の記入例

事例A～Fの記入例を下記の通り示しますので参考にしてください。

本紙の裏面の「廃棄物分類表」を参照して下さい。

該当する単位に、必ず〇をつけて下さい。

| 区分 行番 | ①廃棄物等の名称 | ②分類番号 | ③年間発生量 | | | | | 単位 | ④方法番号 | | | | ⑤中間処理後の量 | ⑥処理・処分の方法 | ⑦処理・処分先又は再生利用先の名称 | ⑧処理・処分先又は再生利用先の所在地 | ⑨方法番号 | | | ⑩処理後の処分方法 | ⑪資源化の用途 | |
|----------|------------|-------|--------|---|---|---|-----|----|-------|------|------|------|----------|-----------|-------------------|--------------------|-------|------|------|-----------|---------|----|
| | | | 百 | 十 | 万 | 千 | 百 | | 十 | 1次処理 | 2次処理 | 3次処理 | | | | | 1次処理 | 2次処理 | 3次処理 | | | |
| 記入例:A | 鉄筋くず | 1210 | | | | | 9 | kg | | | | | | W1 | 株式会社△△産業 | 都道府県 | 市区町村 | | | | 1・2・3・4 | 10 |
| 記入例:B | 木くず | 0810 | | | | | 30 | kg | | | | | | X1 | 〇〇商店 | 都道府県 | 市区町村 | G | | | 1・2・3・4 | 30 |
| 記入例:C | 廃プラスチック | 0600 | | | | | 10 | kg | A | | | | | S1 | 株式会社×× | 都道府県 | 市区町村 | | | | 1・2・3・4 | |
| 記入例:D | 廃プラスチック | 0600 | | | | | 5 | kg | | | | | | X1 | 市町村 | 都道府県 | 市区町村 | I | | | 1・2・3・4 | 30 |
| 記入例:E | ベントナイト汚泥 | 0221 | | | | | 600 | kg | | B | | 100 | | S1 | 市町村 | 都道府県 | 市区町村 | | | | 1・2・3・4 | |
| 記入例:F | コンクリートのがれき | 1501 | | | | | 120 | kg | | | | | | X1 | △△株式会社 | 都道府県 | 市区町村 | G | | | 1・2・3・4 | 50 |
| 7 | | | | | | | | | | | | | | | | 都道府県 | 市区町村 | | | | 1・2・3・4 | |
| 8 | | | | | | | | | | | | | | | | 都道府県 | 市区町村 | | | | 1・2・3・4 | |

ここでは、中間処理、再生利用や最終処分した先の名称を記入してください。委託した廃棄物が中間処理後に最終処分されている場合は、中間処理業者の名称を記入してください。

| | | | | | |
|---|---|---|---|--|--|
| <p>事例:A</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工事現場から鉄筋くずが年間9t発生したが、すべて、〇〇町の株式会社△△産業に売却した。 ・株式会社△△産業では、鉄鋼原料として再生利用している。 | <p>事例:B</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工事現場から建設木くずが年間に2t車で30台分（すべて満杯）発生した。 ・1台当たりの重量が1t程度であるため、重量に換算すると、30tである。 ・これは、〇×市にある〇〇商店に料金を払って処理を委託した。 ・〇〇商店では、破砕チップ化し、燃料として再生利用している。 | <p>事例:C</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工事現場から廃プラスチックが年間10t発生した。 ・すべて自社の焼却炉で焼却し、焼却灰が1t発生した。 ・これは、〇△町にある株式会社××の最終処分場で埋立処分した。 | <p>事例:D</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工事現場からプラスチックくずが年間5t発生した。 ・これは、×●市にある市町村に中間処理を委託した。 ・市町村では圧縮して固形燃料を製造している。 | <p>事例:E</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工事現場からベントナイト汚泥が発生したが、すべて工事現場内で脱水した。 ・脱水後の汚泥量は、100t（含水率70%）であった。 ・脱水前の量は、把握していないので正確でないが、脱水前の含水率が95%であるため計算すると600tとなる。 (計算式：100t × (100 - 70) ÷ (100 - 95) = 600t) ・脱水後の汚泥は、市町村に管理型処分地を保有する市町村で埋立処分した。 | <p>事例:F</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工事現場からコンクリートのがれき等が10tダンブで12台分発生した。重量に換算すると120t程度である。 ・これは、×△市に破砕プラントを保有する株式会社△△に中間処理を委託した。 ・株式会社△△では破砕後、骨材として再生利用している。 |
|---|---|---|---|--|--|

廃棄物分類表

※爆発性、毒性、感染性、腐食性などの有害な性状を有している廃棄物は、本用紙右下の特別管理産業廃棄物の分類表をご参照ください。

1. 産業廃棄物(特別管理産業廃棄物を除く)

| 廃棄物の種類 | | | 分類番号 | |
|-----------------------|----------------|-------------|-----------------|------|
| 大分類 | 中分類 | 小分類 | | |
| 燃え殻 | 焼却灰 | | 0100 | |
| | | 石炭灰 | 0110 | |
| | | 炭灰 | 0111 | |
| | | 廃棄物の焼却灰 | 0112 | |
| | | 廃活性炭・廃カーボン | 0120 | |
| 汚泥(泥状のもの) | | | 0200 | |
| | 有機性汚泥 | | 0210 | |
| | 無機性汚泥 | | 0220 | |
| | 建設汚泥(残土を除く) | | 0221 | |
| 廃油 | 一般廃油 | | 0300 | |
| | | 鉱物性油 | 0310 | |
| | | 動植物性油脂 | 0311 | |
| | 廃溶剤 | | | 0320 |
| | | 固形油 | | 0330 |
| | | 油でい | | 0340 |
| | | 油付着物 | | 0350 |
| | | | | 0400 |
| 廃アルカリ | | 0500 | | |
| 廃プラスチック | | | 0600 | |
| | 廃タイヤ | | 0601 | |
| | 自動車用プラスチックバンパー | | 0602 | |
| | 廃農業用ビニール | | 0603 | |
| | プラスチック製廃容器包装 | | 0604 | |
| | 発泡スチロール | | 0605 | |
| | 発泡ウレタン | | 0606 | |
| | 発泡ポリスチレン | | 0607 | |
| | 塩化ビニル製建設資材 | | 0608 | |
| | 紙くず | 建設工事の紙くず | | 0700 |
| | | ダンボール | 0710 | |
| | | | 0711 | |
| 木くず | 建設工事の木くず | | 0800 | |
| | | 伐採材・伐根材 | 0810 | |
| | | | 0811 | |
| | | パレット | 0820 | |
| 繊維くず(天然繊維くず) | 建設工事の繊維くず | | 0900 | |
| | | | 0910 | |
| 動植物性残渣 | | | 1000 | |
| 動物系固形不要物 | | | 4000 | |
| ゴムくず(天然ゴムくず) | | | 1100 | |
| 金属くず | 鉄くず | | 1200 | |
| | 非鉄金属くず | | 1210 | |
| | | 鉛製の管又は板 | 1221 | |
| | | 電線くず | 1222 | |
| ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず | | | 1300 | |
| | ガラスくず | パレット | 1310 | |
| | | カレット | 1311 | |
| | | 廃ブラウン管(側面部) | 1312 | |
| | | ガラス製廃容器包装 | 1313 | |
| | | ロックウール | 1314 | |
| | | 石綿(非飛散性) | 1315 | |
| | | グラスウール | 1316 | |
| | | 岩綿吸音板 | 1317 | |
| | | 陶磁器くず | | 1320 |
| | | | コンクリートくず | 1321 |
| | | | 石膏ボード | 1322 |
| | | | ALC(軽量気泡コンクリート) | 1323 |
| | | 鉱さい | | |
| | | | スラグ | 1403 |

| 廃棄物の種類 | | | 分類番号 | |
|-------------------------------|-------------------------------|-----------------|----------|------|
| 大分類 | 中分類 | 小分類 | | |
| がれき類(工作物の新築、改築又は除去に伴って生じた不要物) | | | 1500 | |
| | | コンクリート破片 | 1501 | |
| | | アスファルト・コンクリート破片 | 1502 | |
| ばいじん(工場の排ガスを処理して得られるばいじん) | | | 1800 | |
| 建設混合廃棄物 | | | 2000 | |
| | 安定型建設混合廃棄物 | | 2010 | |
| | | 管理型建設混合廃棄物 | | 2020 |
| | | | 新築系混合廃棄物 | 2021 |
| | | | 解体系混合廃棄物 | 2022 |
| 安定型混合廃棄物 | | | 2100 | |
| 管理型混合廃棄物 | | | 2200 | |
| 石綿含有産業廃棄物 | | | 2400 | |
| | 建設混合廃棄物 | | 2410 | |
| | ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず | | 2420 | |
| | 廃プラスチック類 | | 2430 | |
| | がれき類(工作物の新築、改築又は除去に伴って生じた不要物) | | 2440 | |
| | 紙くず | | 2450 | |
| | 木くず | | 2460 | |
| | 繊維くず(天然繊維くず) | | 2470 | |
| シュレッダーダスト | | | 2300 | |
| 廃自動車 | | | 3000 | |
| | 廃三輪車 | | 3010 | |
| | | バイク | 3011 | |
| | | 自転車 | 3012 | |
| 廃電気機械器具 | | | 3100 | |
| | | 廃パチンコ機及びパチスロ機 | 3101 | |
| | | プリント配線板 | 3102 | |
| | | テレビジョン受信機 | 3103 | |
| | | エアコンディショナー | 3104 | |
| | | 冷蔵庫 | 3105 | |
| | | 洗濯機 | 3106 | |
| | | 電子レンジ | 3107 | |
| | | パーソナルコンピューター | 3108 | |
| | | 電話機 | 3109 | |
| | | 自動販売機 | 3110 | |
| | | 蛍光灯 | 3111 | |
| | 冷凍庫 | 3112 | | |
| 廃電池類 | | | 3500 | |
| | | 鉛蓄電池 | 3510 | |
| | | 乾電池 | 3520 | |
| 複合材 | | | 3600 | |

2. 特別管理産業廃棄物

| | | | |
|----------------|---------------------------|----------------------------------|------|
| 燃えやすい廃油 | | 7000 | |
| | 燃えやすい廃油(基準値を超える有害物質を含むもの) | 7010 | |
| pH2.0以下の廃酸 | | 7100 | |
| | | pH2.0以下の廃酸(基準値を超える有害物質を含むもの) | 7110 |
| pH12.5以上の廃アルカリ | | 7200 | |
| | | pH12.5以上の廃アルカリ(基準値を超える有害物質を含むもの) | 7210 |
| 感染性廃棄物 | | 7300 | |
| 特定有害産業廃棄物 | | 7400 | |
| | | 廃石綿等(飛散性) | 7421 |
| | | 指定下水汚泥 | 7422 |
| | | 鉱さい(基準値を超える有害物質を含むもの) | 7423 |
| | | 燃え殻(基準値を超える有害物質を含むもの) | 7424 |
| | | 廃油(基準値を超える有害物質を含むもの) | 7425 |
| | | 汚泥(基準値を超える有害物質を含むもの) | 7426 |
| | | 廃酸(基準値を超える有害物質を含むもの) | 7427 |
| | | 廃アルカリ(基準値を超える有害物質を含むもの) | 7428 |
| | | ばいじん(基準値を超える有害物質を含むもの) | 7429 |